

2026（令和8）年度神奈川県立保健福祉大学大学院
保健福祉学研究科保健福祉学専攻博士前期課程 入学試験

筆記試験
問題用紙

- ① 指示があるまでは中を見てはいけません。
- ② 自分の志望する領域の問題の指示に従って解答してください。
- ③ 解答用紙すべてに、志望領域、受験番号、氏名、解答する問題番号（例：作—1—（1））を必ず記入してください。
- ④ 解答は問題番号ごとに別々の解答用紙に記入してください。

【リハビリテーション領域（作業療法学）】

【リハビリテーション領域（作業療法学）】

一般選抜の受験者は、問題（作－1）から2問を選び解答するとともに、問題（作－2）に解答しなさい。

社会人特別選抜の受験者は、問題（作－1）から3問を選び、解答しなさい。

問題（作－1）

- (1) 急性期脳卒中患者に対する離床訓練の実施について、脳卒中ガイドライン2021（改訂2023版）で推奨されている内容やエビデンスに基づき、あなたの考えを述べなさい。

- (2) 小児のクレヨン・鉛筆における把持の発達段階について説明しなさい。次に、小児作業療法が行う書字支援について、あなたの考えを述べなさい。

- (3) 精神障害領域の支援において、近年「リカバリー」という概念が普及している。リカバリーを目指す支援を考えた際、作業療法士は作業をどのように用いたらよいか、その際の作業の意味も含めて、あなたの考えを述べなさい。

- (4) 近年、身体的フレイルのみならず、精神的・社会的フレイルへの支援の重要性が指摘されている。あなたが作業療法士として地域高齢者支援に関わる際、どのようなリハビリテーション戦略が必要であるか、現状と課題を整理しながら、あなたの考えを述べなさい。

- (5) 役割理論における「役割」概念について説明しなさい。次に、人間作業モデルの視点から役割へのアプローチについてあなたの考えを述べなさい。

- (6) 治療と仕事の両立支援制度は、疾病を抱えた方々が、適切な治療を受けながら、仕事を続けられるように支援する制度である。治療と仕事の両立に関する調査では、疾病を理由に退職した者が以下のような退職理由を述べている。この調査結果(表)を踏まえて、本制度の課題と解決策を述べなさい。

表 疾病を理由に退職した人の退職理由（2022年調査、複数回答）

順位	退職理由	割合 (%)
1	症状や副作用等のため仕事を続ける自信がなくなった	30.6
2	治療・療養に専念するため	28.0
3	治療と仕事を両立できるような就業形態がなかった	26.5
4	会社や同僚、仕事関係の人々に迷惑をかけると思った	25.3
5	治療や静養に必要な休みをとることが難しかった	18.6
6	残業が多い職場だったから	18.4
7	治療と仕事を両立できるような転換可能な業務がなかった	17.5
8	休職制度がなく、退職せざるを得なかった	13.1

引用文献：独立行政法人 労働政策研究・研修機構. 治療と仕事の両立に関する実態調査（患者WEB調査）(No.241 2024年3月)

問題（作－2）

以下の英文を読み、問題に解答しなさい。

（著作権の関係で、問題文の掲載を省略）

出典：Livingston, G., Huntley, J., Sommerlad, A., et al. (2020). Dementia prevention, intervention, and care: 2020 report of the Lancet Commission. *The Lancet*, 396(10248), 413–446. （一部抜粋）

（1）次の選択肢で、本文の内容について正しいものを選びなさい。

- A. Dementia is an always occur result of aging.
- B. The number of people with dementia is expected to decrease by 2050.
- C. Addressing modifiable risk factors can potentially prevent or delay up to 40% of dementia cases.
- D. There are no known risk factors for dementia other than age.

（2）本文中の下線部を日本語に訳しなさい。

（3）本文中の **modifiable risk factors** のうち、生活習慣に関わるものを 3つ英語で抜き出しなさい。

（4）本文の内容を 30 語以内の英語で要約しなさい。ただし、予防の重要性を含めること。